

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



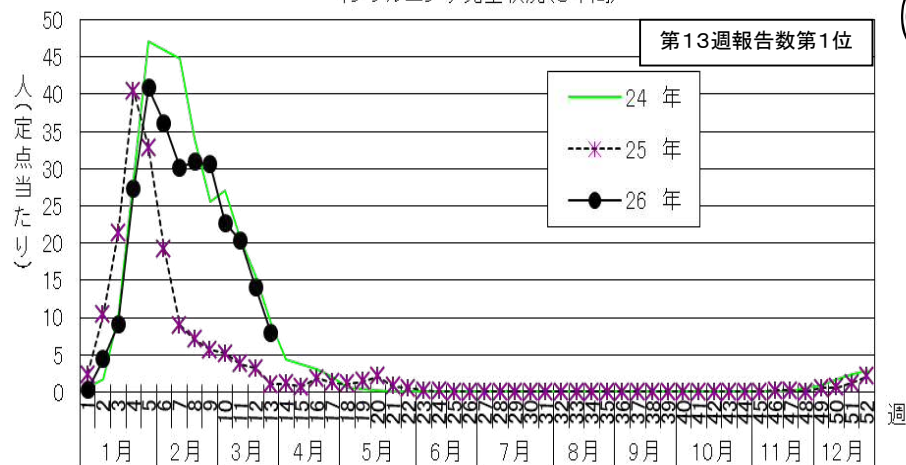
平成26年3月24日（月）～平成26年3月30日（日）〔平成26年第13週〕の感染症発生状況

第13週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)インフルエンザ 2)感染性胃腸炎 3)水痘 でした。

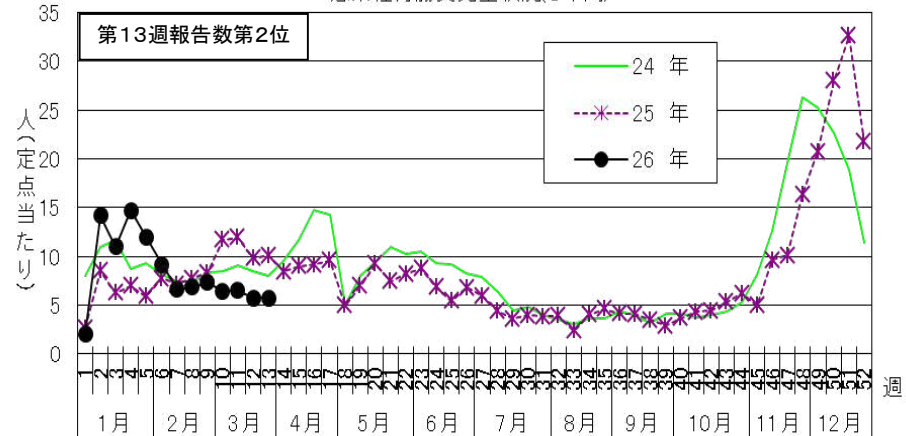
インフルエンザは定点当たり7.87人と前週（14.13）より患者報告数は減少しましたが、例年より高いレベルで推移しています。また、第13週には病原体定点医療機関からの検体の搬入はありませんでした。

感染性胃腸炎は定点当たり5.76人と前週（5.73）より患者報告数はわずかに増加しましたが、例年より低いレベルで推移しています。

インフルエンザ発生状況(3年間)



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



川崎市感染症情報発信システムの運用を開始しました

川崎市では、4月1日から、さまざまな感染症の流行状況を公開する「川崎市感染症情報発信システム(KIDSS)」の運用を開始しました。

<https://kidss.city.kawasaki.jp/modules/topics/>

本システムでは、医療機関等から収集したインフルエンザなどの患者情報を、自動的に集計し、グラフやマップなどで分かりやすく公開しています。

疾患別情報も掲載していますので、施設や家庭での感染症の予防対策に是非御利用ください。

トップページ画面



発行 川崎市健康安全研究所・健康福祉局健康安全部・各区役所保健福祉センター（保健所）
（問い合わせ先） 044-276-8250